

古文「絶対敬語」 識別 100題ドリル

対象：高校生・大学受験生 | 著作権：誰でも古典塾 (kotennosensei.com) 無断転載禁止

はじめに

絶対敬語とは、使う相手が固定された敬語です。代表は「奏す」と「啓す」。これが出てきた瞬間に、申し上げる相手（天皇か、中宮・東宮か）が文脈なしで確定します。さらに「奏す」には「演奏する」という別の意味もあり、ここがひっかけになります。

傍線部を次の4タイプ（ア～エ）に分類しましょう。

| 記号 | 語・意味 | 申し上げる相手 |
|----|-------------------|--------------------|
| ア | 奏す（絶対敬語＝申し上げる） | 必ず天皇（広く上皇・法皇） |
| イ | 啓す（絶対敬語＝申し上げる） | 必ず皇后・中宮・東宮・皇太后 |
| ウ | 相対敬語（申す・聞こゆ・奉る 等） | 文脈で決まる（語だけでは決まらない） |
| エ | 奏す（＝楽器を演奏する） | 敬語ではない一般動詞 |

鉄則 - 「奏す」を見たら、まず目的語を見る。言葉・事を「奏す」＝申し上げる（ア／相手は天皇）。楽・琴・笛を「奏す」＝演奏する（エ）。 - 「啓す」は相手が中宮・東宮など（イ）。天皇には使わない。 - 「申す・聞こゆ」は相対敬語（ウ）。たとえ相手が天皇でも、相手を決めるのは語ではなく文脈。

🎯 解き方のコツ

- 奏す＋言葉/事 → ア（相手＝天皇）。奏す＋楽器 → エ（演奏）。
- 啓す → イ（相手＝皇后・中宮・東宮・皇太后）。
- 申す・聞こゆ・奉る → ウ（相対敬語）。相手は「～に」の部分など文脈で判断。
- 注意：「奏す・啓す」は謙讓語。主語は「申し上げる人（臣下）」で、天皇・中宮は相手（客体）。

採点表

| 部 | 問題 | 目標 |
|--------|----------|-------|
| 第1部 基礎 | Q1～Q20 | 18／20 |
| 第2部 標準 | Q21～Q50 | 24／30 |
| 第3部 応用 | Q51～Q80 | 22／30 |
| 第4部 入試 | Q81～Q100 | 14／20 |

【第1部】基礎（Q1～Q20）

Q1. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

大臣、帝に事の由を奏す。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏す」。絶対敬語で、相手は必ず天皇。

Q2. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

大納言、中宮に祝ひを啓す。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓す」。相手は中宮（皇后・東宮・皇太后も含む）。

Q3. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

家来、主にありさまを申す。 答え：ウ 解説：「申す」は相対敬語。相手（主）は文脈で決まる。

Q4. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

楽人、御前にて琴を奏す。 答え：エ 解説：目的語が「琴」。これは「演奏する」意で、敬語ではない。

Q5. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

蔵人、火急のことを帝に奏す。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q6. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

女房、東宮に御文を啓す。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓す」。相手は東宮。

Q7. 次の傍線部「聞こゆ」は、ア～エのどれか。

女、男に忍びて聞こゆ。 答え：ウ 解説：「聞こゆ」は相対敬語。相手（男）は文脈で決まる。

Q8. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

笛をいとめでたく奏す。 答え：エ 解説：目的語が「笛」。「演奏する」意で敬語ではない。

Q9. 次の傍線部「奏し」は、ア～エのどれか。

摂政、帝にことよしを奏しけり。 答え：ア 解説：「奏し」は「奏す」の連用形。言葉を申し上げる絶対敬語で、相手は天皇。

Q10. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

大夫、皇后に賀の言葉を啓す。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓す」。相手は皇后。

Q11. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

翁、帝に名をば讃岐の造と申す。 答え：ウ 解説：相手は帝だが、「申す」は相対敬語。相手を決めるのは語ではなく文脈（帝に）。

Q12. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

御前にて、万歳楽を奏す。 答え：エ 解説：目的語が「万歳楽（楽曲）」。「演奏する」意で敬語ではない。

Q13. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

関白、勝ち戦の由を帝に奏す。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q14. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

別当、東宮に事の子細を啓しけり。 答え：イ 解説：「啓し」は「啓す」の連用形。相手は東宮。

Q15. 次の傍線部「奉る」は、ア～エのどれか。

姫、宮に御文を奉る。 答え：ウ 解説：「奉る」は相対敬語（差し上げる）。相手（宮）は文脈で決まる。

Q16. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

名手、和琴（わごん）をやほらかに奏す。 答え：エ 解説：目的語が「和琴」。「演奏する」意で敬語ではない。

Q17. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

大臣、世の有様を帝に奏す。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q18. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

女房、皇太后に御消息を啓す。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓す」。相手は皇太后。

Q19. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

中納言、大将にうやうやしく申す。 答え：ウ 解説：「申す」は相対敬語。相手（大将）は文脈で決まる。

Q20. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

神楽（かぐら）を夜もすがら奏す。 答え：エ 解説：目的語が「神楽」。「演奏する」意で敬語ではない。

【第2部】標準（Q21～Q50）

Q21. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

大納言、おそるおそる帝に奏す。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q22. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

蔵人、中宮に帝の仰せを啓す。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓す」。相手は中宮。

Q23. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

大臣、帝に申すやう、「しかしかのこと」と。 答え：ウ 解説：相手は帝だが「申す」は相対敬語。語ではなく文脈（帝に）で相手が決まる。

Q24. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

御遊びに、上達部、笛を奏す。 答え：エ 解説：目的語が「笛」。「演奏する」意で敬語ではない。

Q25. 次の傍線部「奏し」は、ア～エのどれか。

右大臣、内裏に参りて、帝に奏し給ふ。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏し」。相手は天皇（「給ふ」が付いても語の意味は変わらない）。

Q26. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

女房、春宮（とうぐう）に夜の御殿のことを啓す。 答え：イ 解説：「春宮」は東宮。絶対敬語「啓す」で相手は東宮。

Q27. 次の傍線部「聞こゆ」は、ア～エのどれか。

乳母、姫君に泣く泣く**聞こゆ**。 答え：ウ 解説：「聞こゆ」は相対敬語。相手（姫君）は文脈で決まる。

Q28. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

御前にて、舞楽を**奏す**。 答え：エ 解説：目的語が「舞楽」。「演奏する」意で敬語ではない。

Q29. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

大臣、ひそかに上皇に**奏す**。 答え：ア 解説：「奏す」は上皇・法皇にも用いる。絶対敬語で、相手は最高位の人物。

Q30. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

大納言、中宮に御賀のことを**啓し**奉る。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓し」。相手は中宮。

Q31. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

老いたる女房、若き姫に昔語りを**申す**。 答え：ウ 解説：「申す」は相対敬語。相手（姫）は文脈で決まる。

Q32. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

名うての楽人、箏篋（ひちりき）を**奏す**。 答え：エ 解説：目的語が「箏篋」。「演奏する」意で敬語ではない。

Q33. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

大臣、雨の少なきことを帝に**奏す**。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q34. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

女別当、皇后に御産のことを啓す。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓す」。相手は皇后。

Q35. 次の傍線部「奉る」は、ア～エのどれか。

国の司、帝に貢ぎ物を奉る。 答え：ウ 解説：相手は帝だが「奉る」は相対敬語（差し上げる）。語ではなく文脈で相手が決まる。

Q36. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

夜もすがら、御前にて箏（さう）の琴を奏す。 答え：エ 解説：目的語が「箏の琴」。「演奏する」意で敬語ではない。

Q37. 次の傍線部「奏し」は、ア～エのどれか。

摂政、よろづの政を帝に奏し行ふ。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏し」。相手は天皇。

Q38. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

蔵人の頭、東宮に火急の由を啓す。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓す」。相手は東宮。

Q39. 次の傍線部「申し」は、ア～エのどれか。

翁、かぐや姫に泣く泣く申しけり。 答え：ウ 解説：「申し」は相対敬語「申す」。相手（かぐや姫）は文脈で決まる。

Q40. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

御賀の日、楽人ども、こぞりて楽を奏す。 答え：エ 解説：目的語が「楽」。「演奏する」意で敬語ではない。

Q41. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

内大臣、帝に辞表の由を奏す。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q42. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

女房、中宮に御文の返りを啓しけり。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓し」。相手は中宮。

Q43. 次の傍線部「聞こえ」は、ア～エのどれか。

大臣、帝に御消息を聞こえ給ふ。 答え：ウ 解説：相手は帝だが「聞こゆ」は相対敬語。語ではなく文脈で相手が決まる。

Q44. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

御前にて、和琴と笛とを合はせて奏す。 答え：エ 解説：目的語が楽器（和琴・笛）。「演奏する」意で敬語ではない。

Q45. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

大臣、天変のことを帝に奏す。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q46. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

別当、皇太后に御賀の次第を啓す。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓す」。相手は皇太后。

Q47. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

武士、大將軍に軍の様子を申す。 答え：ウ 解説：「申す」は相対敬語。相手（大將軍）は文脈で決まる。

Q48. 次の傍線部「奏で」は、ア～エのどれか。

上手、琵琶をかき鳴らして**奏で**けり。 **答え**：エ **解説**：「奏づ」も「楽器を演奏する」意の一般動詞。目的語が「琵琶」で演奏。

Q49. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

関白、御元服のことを帝に**奏す**。 **答え**：ア **解説**：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q50. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

女房、中宮に御湯殿の用意を**啓す**。 **答え**：イ **解説**：絶対敬語「啓す」。相手は中宮。

【第3部】 応用 (Q51～Q80)

Q51. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

大臣、帝の御前にて、しかじかと**申す**。 **答え**：ウ **解説**：場が帝の御前でも、語が「申す」なら相対敬語。絶対敬語「奏す」と取り違えないこと。

Q52. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

陰陽師、日のよきよしを帝に**奏す**。 **答え**：ア **解説**：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q53. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

大納言、中宮の御前にさぶらひて、事のよしを**啓す**。 **答え**：イ **解説**：絶対敬語「啓す」。相手は中宮。

Q54. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

月の宴に、御琴を取り出でて**奏す**。 **答え**：エ **解説**：目的語が「御琴」。「演奏する」意で敬語ではない。

Q55. 次の傍線部「奏し」は、ア～エのどれか。

大臣、涙ながらに、譲位のことを帝に奏し給ふ。 **答え：ア** **解説：**言葉を申し上げる「奏し」。相手は天皇。

Q56. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

命婦、皇后に姫君の御事を啓しけり。 **答え：イ** **解説：**絶対敬語「啓し」。相手は皇后。

Q57. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

殿上人、関白殿に祝ひの言葉を申す。 **答え：ウ** **解説：**「申す」は相対敬語。相手（関白）は文脈で決まる。関白は天皇ではないので「奏す」は使わない。

Q58. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

御遊びの折、笛と箏篋を取りどりに奏す。 **答え：エ** **解説：**目的語が楽器。「演奏する」意で敬語ではない。

Q59. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

大臣、世のために、ねむごろに帝に奏す。 **答え：ア** **解説：**言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q60. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

女房、東宮に御学問の進みを啓す。 **答え：イ** **解説：**絶対敬語「啓す」。相手は東宮。

Q61. 次の傍線部「聞こゆ」は、ア～エのどれか。

後の宮、帝に御文を聞こゆ。 **答え：ウ** **解説：**相手は帝でも「聞こゆ」は相対敬語。天皇への語だからといって絶対敬語にはならない。

Q62. 次の傍線部「奏で」は、ア～エのどれか。

名手、夜もすがら琴を奏でて、人々を泣かす。 答え：エ 解説：「奏づ」は「演奏する」意の一般動詞。目的語が「琴」。

Q63. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

大臣、御即位のことを帝に奏す。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q64. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

蔵人、中宮に帝よりの仰せを啓し伝ふ。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓し」。相手は中宮。

Q65. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

雑色（ぞうしき）、主人に使ひの由を申す。 答え：ウ 解説：「申す」は相対敬語。相手（主人）は文脈で決まる。

Q66. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

御前にて、つづみと笛とを打ち合はせて奏す。 答え：エ 解説：目的語が楽器（つづみ・笛）。「演奏する」意で敬語ではない。

Q67. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

大臣、夢のさとしを帝に奏す。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q68. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

別当、東宮に御方違へのことを啓す。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓す」。相手は東宮。

Q69. 次の傍線部「奉り」は、ア～エのどれか。

後の宮に、果物を折敷に据ゑて**奉り**けり。 **答え**：ウ **解説**：「奉る」は相対敬語（差し上げる）。相手（後の宮）は文脈で決まる。

Q70. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

御賀の試楽に、若君、和琴を**奏す**。 **答え**：エ **解説**：目的語が「和琴」。「演奏する」意で敬語ではない。

Q71. 次の傍線部「奏し」は、ア～エのどれか。

大臣、日ごろの政のことを帝に**奏し**けり。 **答え**：ア **解説**：言葉を申し上げる「奏し」。相手は天皇。

Q72. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

典侍（ないしのすけ）、皇后に御けしきを**啓し**奉る。 **答え**：イ **解説**：絶対敬語「啓し」。相手は皇后。

Q73. 次の傍線部「申し」は、ア～エのどれか。

大納言、帝に御礼を**申し**給ふ。 **答え**：ウ **解説**：相手は帝でも「申す」は相対敬語。語ではなく文脈（帝に）で相手が決まる。

Q74. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

楽所（がくそ）の人々、競ひて笙（しやう）を**奏す**。 **答え**：エ **解説**：目的語が「笙」。「演奏する」意で敬語ではない。

Q75. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

大臣、世継ぎのことを法皇に**奏す**。 **答え**：ア **解説**：「奏す」は法皇にも用いる絶対敬語。相手は最高位の人物。

Q76. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

女房、中宮に御方々の参りたるよしを啓す。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓す」。相手は中宮。

Q77. 次の傍線部「聞こえ」は、ア～エのどれか。

姫君、母上に心のうちを聞こえ給ふ。 答え：ウ 解説：「聞こゆ」は相対敬語。相手（母上）は文脈で決まる。

Q78. 次の傍線部「奏で」は、ア～エのどれか。

上手の女房、箏を心に入れて奏でけり。 答え：エ 解説：「奏づ」は「演奏する」意。目的語が「箏」。

Q79. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

大臣、御幸（みゆき）のことを帝に奏す。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q80. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

大夫、東宮に御元服の日取りを啓す。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓す」。相手は東宮。

【第4部】入試（Q81～Q100）

Q81. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

大臣、御前に進み出でて、世のまつりごとのことを帝に奏す。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q82. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

女房、御簾のうちに参りて、中宮に姫君の御事を啓す。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓す」。相手は中宮。

Q83. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

大納言、帝の御前にかしこまりて、ことよしを**申す**。 **答え**：ウ **解説**：御前でも、語が「申す」なら相対敬語。「奏す」と取り違えないことが要点。

Q84. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

御遊びはなやかにて、上達部、笛・箏篋を取りどりに**奏す**。 **答え**：エ **解説**：目的語が楽器。「演奏する」意で敬語ではない。

Q85. 次の傍線部「奏し」は、ア～エのどれか。

摂政殿、御簾の外にて、火急の事を帝に**奏し**給ふ。 **答え**：ア **解説**：言葉を申し上げる「奏し」。相手は天皇。

Q86. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

命婦、御帳のもとに寄りて、皇太后に御けしきを**啓し**けり。 **答え**：イ **解説**：絶対敬語「啓し」。相手は皇太后。

Q87. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

月のあかき夜、帝の御前にて、名手、和琴を**奏す**。 **答え**：エ **解説**：帝の御前でも、目的語が「和琴」なら「演奏する」意。敬語ではない。

Q88. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

大納言、東宮の御方に参りて、御学問始めのことを**啓す**。 **答え**：イ **解説**：絶対敬語「啓す」。相手は東宮。

Q89. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

大臣、よろづのことをまとめて、ことごとく帝に**奏す**。 **答え**：ア **解説**：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q90. 次の傍線部「申し」は、ア～エのどれか。

受領、国の守に年貢のことを申しけり。 答え：ウ 解説：「申す」は相対敬語。相手（国の守）は文脈で決まる。

Q91. 次の傍線部「奏で」は、ア～エのどれか。

御賀の宴に、若君、笙の笛をめでたく奏で給ふ。 答え：エ 解説：「奏づ」は「演奏する」意の一般動詞。目的語が「笙の笛」。

Q92. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

大臣、皇子御誕生のよろこびを帝に奏す。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q93. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

女別当、中宮に御湯殿の儀のことを啓す。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓す」。相手は中宮。

Q94. 次の傍線部「聞こゆ」は、ア～エのどれか。

大臣、帝にひそかに御消息を聞こゆ。 答え：ウ 解説：相手は帝でも「聞こゆ」は相対敬語。天皇への語というだけでは絶対敬語にならない。

Q95. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

御前の遊びに、琴・笛・箏、声を合はせて奏す。 答え：エ 解説：目的語が楽器。「演奏する」意で敬語ではない。

Q96. 次の傍線部「奏し」は、ア～エのどれか。

関白、よき日を選びて、御即位のことを帝に奏しけり。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏し」。相手は天皇。

Q97. 次の傍線部「啓し」は、ア～エのどれか。

蔵人、御使ひとして、東宮に帝の御言葉を啓し奉る。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓し」。相手は東宮。

Q98. 次の傍線部「申す」は、ア～エのどれか。

侍、館（やかた）の主に、夜討ちの企てを申す。 答え：ウ 解説：「申す」は相対敬語。相手（館の主）は文脈で決まる。

Q99. 次の傍線部「奏す」は、ア～エのどれか。

大臣、御物の怪のしづまりたるよしを帝に奏す。 答え：ア 解説：言葉を申し上げる「奏す」。相手は天皇。

Q100. 次の傍線部「啓す」は、ア～エのどれか。

大納言、御簾のうちの中宮に、御賀の日の定まりたるよしを啓す。 答え：イ 解説：絶対敬語「啓す」。相手は中宮。

採点・振り返り

| 部 | 点数 |
|-------------------|------|
| 第1部 基礎 (Q1～Q20) | ／20 |
| 第2部 標準 (Q21～Q50) | ／30 |
| 第3部 応用 (Q51～Q80) | ／30 |
| 第4部 入試 (Q81～Q100) | ／20 |
| 合計 | ／100 |

復習のポイント - 奏す (ア) = 天皇へ / 啓す (イ) = 皇后・中宮・東宮・皇太后へ。絶対敬語は、語が出た瞬間に相手が決まる。 - 奏す + 楽器 = 「演奏する」(エ)。目的語が「言葉・事」か「楽・琴・笛」かで見分ける。「奏づ」も演奏。 - 申す・聞こゆ・奉る (ウ) は相対敬語。たとえ相手が天皇でも、相手を決めるのは語ではなく文脈。「帝に申す」は相対敬語のまま。 - 奏す・啓すは謙讓語。主語は申し上げる臣下、天皇・中宮は相手 (客体)。主語ととりちがえない。

